

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2990600013		
法人名	特定非営利活動法人 信貴山やすらぎ会		
事業所名	グループホームやすらぎ		
所在地	奈良県生駒郡平群町菊美台1丁目206-1		
自己評価作成日	平成26年10月10日	評価結果市町村受理日	

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 Nネット		
所在地	奈良県奈良市登大路町36番地 大和ビル3階		
訪問調査日	平成26年10月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かなやや高台に立地し、生駒山が一望でき、近くに平群町北公園があり日々の散歩に活用させて頂いています。地域のボランティアサークル7の方々に応援をいただき、コーラス・フラダンス・民謡・お茶会等さまざまな場面で交流を図っており、地域のサークルならではの利用者様と面識がある方も居られ楽しんでいただいています。四季おりおりの行事も積極的に開催し、利用者様に季節感を感じていただくようにしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は信貴山の干手院の流れを汲み、事務所に干手観音をお祭りして、お茶やお花をお供えしている。東に大学病院があり、歩いて5分の所に近鉄東山駅がある。西側に近隣の人々が散歩したり運動をして憩う平群町北公園が広がる。公園は災害避難場所ともなっている為に、事業所職員も近隣の方々との日々のお付き合いを心がけている。事業所は訪問介護、居宅介護支援センター、介護タクシー等併設しており、地域の利用者にも柔軟な対応ができる体制を整えている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当事業所の玄関に「理念」「運営方針」「介護規範」を掲示しいつでも各職員並びに家族様に見ることが出来るようにしている	事業所は信貴山の千手院からの流れを汲み、年2回は寺の管長や施設長が事業所内で講師となり職員と共に理念の共有を図っている。玄関入口に理念を掲げている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	平成26年8月に自治会加入済。当、事業所の行事に地域で活動されているサークルの皆さんに参加していただき交流を図っている	今年8月に自治会の一員となったので、町便りが届くようになり河内音頭が開催されることや、肺炎球菌ワクチン接種の助成があるなどの情報が入り、往診医につなげることができた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まだ貢献はできていない		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	直近では、平成26年1月24日に開催いたしました。が、以後開催できていない。	運営推進会議は、H26年1月に家族、町担当職員、近隣の老人保健施設管理者とケアマネジャー、事業所からは施設長、管理者の参加を得て開催し活動報告等をして意見交換を行った。次回は11月14日に開催の予定である。	運営推進会議の機会をとらえて、利用者、家族や町担当職員等が、意見交換し運営に反映させているが、地域に密着した意見を得るためにも地域の代表者へ参加の要請を行うと共に、定期的な開催の取組みを期待する。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	平成26年9月に新事業所を開設ができ、それまでの経過の中で平群町との連絡等を図り協力関係を築いております。	当地での事業所運営は3年目であり、9月には更に新事業所を開設したことで、町役場へは月2・3回訪問して利用者等の情報を交換をしている。地域包括支援センターとも連携し利用者入居の紹介を受けたりもしている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	都度身体拘束に当てはまらないか職員一同話し合い身体拘束についての理解を深めている。また、事業所内研修も実施しております。	身体拘束について管理者と職員は年2回の研修をうけ、拘束をしない意識を全職員に周知し共有を図っている。昼間の玄関ドアは施錠せず職員が連携し見守りを行っている。点滴をはずしたがる利用者には付き添い見守りを行い、拘束しないケアを実践している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について冊子を作成し都度閲覧できるようにし管理者は不適切な介護が行われていないか職員の意見を元に確認している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者様全員要介護であり日常生活自立支援事業についての話し合いは行っていないが、成年後見人制度については職員研修の際に知りえています。また、平成26年9月より1名様が成年後見人制度を利用されています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書で契約の際には良く説明をさせていただき理解・納得をしていただいています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様が訪問時に意見要望等を尋ね運営に反映させ家族様には改善点を明示し理解していただいています。	玄関に意見箱を設置している。家族が来訪された時や電話連絡時に意見や要望を聞き、連絡帳に記録している。また、毎朝の朝礼時に申し送りの中で報告し運営に反映させている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は主任が吸い上げ管理者に要望し反映させています。	施設長や管理者は職員からの意見や提案を聞く環境を築いている。年1回施設長は職員と個別ヒヤリングの機会を設け、意見や提案をうけて運営に反映している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業所移転に伴い職場環境の整備が整い職員の入れ替わりが格段向上しています		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員が介護技術等の向上をめざし実践の中でサービスの向上に努めている。また、所外研修にも出来るだけ参加しケアの向上に取り組んでいます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の管理者及びケアマネージャ等の方々と随時連絡を取り又訪問を頂き意見交換をさせていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族様やご本人よりご意見を頂戴し本人様に安心して暮らしていただけるように努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より家族様とは綿密に話し合いを行いより良いサービスを構築できるよう努めています		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様とはいろいろな場面に応じたサービスの提供を話し合い現にデイケアを利用されているご利用者様もおられます。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員がご利用者様に応じた時間を作り共に作業をしたり昔の話をしたりしています。お買い物にも同行させていただいています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事には必ず家族様に案内をさせていただき共に有意義な時間を過ごしていただけるよう努めています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	移転に伴いご近所様、家族様の訪問が増え、昔住んでおられた場所のご近所様やお友達が突然に訪問されても会ってもらえるようにしています。	ある利用者が自宅の庭を庭師が剪定するのを見たいという希望で一緒に行ったり、自宅近くの神社参拝や墓参りに行きたいと希望があれば送迎をするなど、馴染みの関係を支援している。馴染みの本屋から配達があったり、お花の生徒さんの来訪もある。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お隣同士同じ話題が共有できるように支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了しても相談が有れば対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が日々の暮らしの中で本人様との会話により希望や意向について把握し検討しています	利用開始時に本人や家族から、施設長、管理者、ケアマネジャーが自宅訪問し、ていねいに生活歴やこだわりや意向を聴き取り、環境の変化などによる作用を見逃さずケアに反映している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴や習慣、環境等事前に家族様よりお聞きしサービスに役立てています。入居者様の馴染みの場所なども同行し出来るだけ行ける様にしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	事前にお聞きした内容に沿って現状状態を把握するよう努めています		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族様との話し合いや主治医、各医療機関と連携しプランに反映できるよう努めています	介護認定更新時に基本的に介護計画作成をするが、より良い生活の計画の為に利用者、家族と共に、管理者やケアマネジャーが話し合いモニタリングをして計画作成をする。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各ご利用者のケース記録で心身の状態、食事、排泄等を把握し情報の共有を図り、介護サービスの変更がある時は連絡帳またはお知らせ等を活用しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人や家族様の状況変化には家族様の訪問時や施設行事等で拝聴し柔軟に対応させていただいています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くに公園や大型スーパーなどがあり散歩や日々の買い物時にスタッフと共に利用させて頂いています。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所に協力いただいている医療機関にて随時往診や受診をさせて頂いています。	利用者や家族の希望を優先し、奈良市内や生駒市内、王寺町内等の医療機関へ受診に付き添い支援している。月2回内科、眼科の往診と皮膚科、歯科の往診が月1回ある。看護師が体調チェックし医師に繋げるなど医療の連携が図られている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤の看護職員が往診時に付添、日々の健康管理にも目を配り把握し管理者、職員も入居者様に体調変化があれば相談し主治医に相談また往診に来て頂くようにしています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携医療機関もあり、検査、入院時にも紹介いただいています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期における、家族様の意向を書面にて記載いただき、看取りケアにおけるマニュアルを作成し職員・家族様にも説明できるように取り組んでいます。	終末期を迎えた100歳の利用者を日常生活の延長上で、家族、医師、管理者や職員が話し合い連携し最期を看取った。利用開始時に「看取りの介護に関する事前確認書」において意思を確認しているが、重度化した利用者の看取りケアをいつ始めるか、家族に意向を伝えるタイミングを模索している。	事業所の運営も軌道にのり、利用者や家族、管理者と職員の意思疎通が図れ、看取り指針が作成できているので、重要事項説明書にも看取りについての明文化が望まれる。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	9月の事業所研修にて西和消防署より署員に来て頂き職員全員で救急救命の講習を受けました。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い各職員に周知徹底をおこなっています。	年2回の避難訓練を行っており、うち1回は夜間想定でなく実際の日没後に避難訓練を行った。普段から地域住民に声かけし、災害時は事業所が避難拠点に近い役割も想定している。米、水、缶詰等3ヶ月分の備蓄をしている。スプリンクラー、煙感知器等完備している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の尊厳を尊重し親しみのある声かけを実践しています。	プライバシーに関する研修は全職員が受講できるよう日程を調整している。トイレ誘導の言葉かけ、入室時のドアのノック、更衣時の配慮等利用者の尊厳を大切にしている。利用者間の摩擦も散歩や別室に誘い気分転換を図るなど、ソフトに対応している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	今、ご利用者様がどうしたいのか耳を傾け本人様の意に添うようにつとめています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各ご利用者様の生活リズムを大切に希望に沿ったサービスができるよう努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自らの意思によりお化粧をしたりされることに対して支援し身だしなみに気を付けるよう努めています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様にテーブルを拭いて頂いたり、配膳、食後の食器を運んでいただいたり洗濯物をたたんでいただいたりもしています。	朝食は前日に職員が買い求めた具材で作っている。昼、夕食は給食事業者が調理した料理を温め、器に盛り付け提供している。ご飯と味噌汁は職員が工夫し作っている。食事はゆっくりと食べる利用者を職員が落ち着いて、やさしく見守っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下状態の悪いご利用者様にはミキサー食にしたり、ゼリーのお茶提供したり、個々の状態に応じて提供させていただいています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアはもちろんのこと、毎週歯科往診を協力歯科にお願いし口腔内の状況、義歯の状態などを診てもらっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄時間を記載し時間を把握しトイレ誘導を行い、トイレのサインを見逃さず誘導している。	日ごとの排泄チェック表を各利用者の月間排泄チェック表に転記し、排泄状況がひと目で把握できるようにしており、さらに日常のサインを見のがさないで、適時トイレ誘導している。夜間に2名のポータブルトイレの利用者がいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医と連携し便秘等の服薬を支援し、水分補給を促し便秘予防に努めています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	主治医や協力医療機関等の意見を取り入れ、個々の意向に沿い入浴していただけるよう努めています。	午後は利用者スタッフとの時間を長く持ちたいと午前中に入浴しているが、利用者の希望も聞き対応している。個浴で湯は利用者ごとに入れ替えている。入浴を嫌がる方も体調を確認して、前もって状況をつくっておきタイミングをはかって入浴に誘う工夫をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向に沿い昼夜を問わず休息していただけるようにし、昼夜逆転にならないよう支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を各職員がいつでも閲覧できるようにし、変更時には連絡帳を活用し周知できるようにし、毎日定時にVS測定を行い、必要であれば主治医の意見にて回数を増やし報告し対応しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でスタッフとの買い物や、洗濯物干し、洗濯物のたたみ等をおこなってもらったりレクリエーションにてカレンダーの色塗りや折り紙、カラオケ等楽しんでもらってます。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	受診時の外出支援、馴染みのある場所への支援や家族様との遠方への外出・外泊。スタッフとの散歩などを支援しています。	事業所の南側の歩道から平群北公園へ職員と一対一で散歩に出かけたり、北側のスーパーへ買い物に出かけている。妹の家へ外泊を支援をしたり、自宅の見回りの帰宅支援もしている。前庭の小さい畑で利用者と一緒に野菜の収穫を行ったりしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様やご本人より強い要望があれば金銭所持を考えますが、現時点では金銭を所持されておられる方はおられません。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族様の了解があれば電話をしていただいています。また、知人や家族様からの郵便物は本人様に手渡し、手紙などを書かれる場合は支援していません。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節の花々を飾り、採光も良く、トイレや浴室も広く、都度温度、湿度には気を配り居心地良く過ごしていただけるよう配慮しています。	天窓からの採光で明るく、新聞を読んだり、チラシ広告を見る利用者と隣のテーブルでは食事をゆっくりと食べる利用者がいて穏やかな雰囲気を保っている。トイレは車椅子が十分に使用できる広さがある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様同士が心地よく過ごせるよう食事時の席の配置を考慮したり、ソファーに移動しゆっくりと過ごせるように配慮しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた家具を居室に持ち込んでいただき又、ご家族様の写真などを飾り、快く過ごしていただけるよう配慮しています。	各部屋に加湿器や介助バー付ベッドが用意されている。使い慣れた筆筒など持ち込みができて、家族の写真や作品を飾っている。職員が毎日モップ掛けをし掃除が行き届いている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所には手すりを設置し、車いす自走や歩行器でも安全なように配慮されており、個々の能力に応じた声かけや支援を実施しております。		